

令和4年度 浦川小学校

## 学校評価集計結果

### 内容

- ・ 保護者の評価結果
- ・ 児童の評価結果
- ・ 地域の方からの評価結果

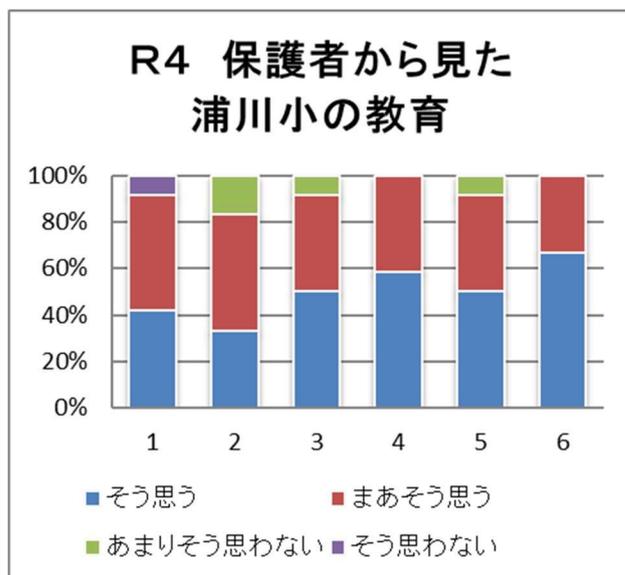
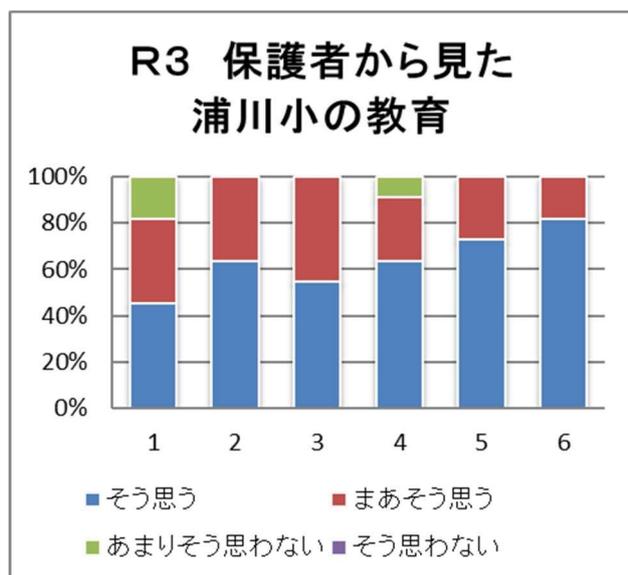
### 実施時期

- ・ 2学期末
- ※ 教職員は1学期末にも実施

設問1 浦川小の教育について

\*指数=(そう思う×1+まあそう思う×0.75+あまりそう思わない×0.25+そう思わない×0)/人数  
つまり、回答者全員が「そう思う」と回答した場合を100とした場合の指数(以下の表も同様)

No.	質 問	R 2	R 3	R 4
1	確かな学力が身に付く取り組みをしている。	87	▲77	79
2	思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	85	△91	▼75
3	たくましい体を鍛える取り組みをしている。	88	89	▼83
4	三者面談など相談しやすい環境を作り、家庭と連携している。	90	86	90
5	家庭や地域に情報を発信し、連携・協力している。	92	93	▼83
6	子どもの健康や安全に気を配っている。	94	95	92
	平均	89	88	84



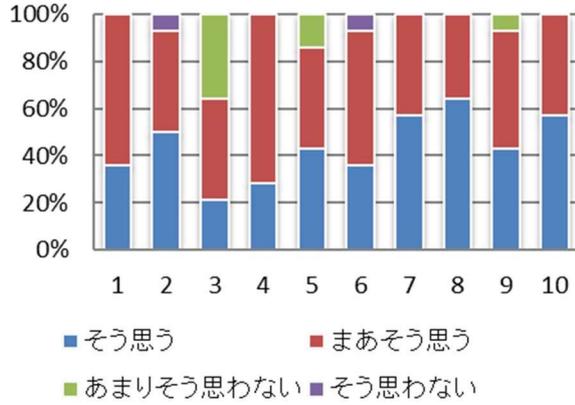
- 全般的に昨年よりは、数値は下がっている
- 数値が下がった項目  
2 思いやり・いじめ 3 たくましい体 5 情報発信
- マイナスよりの回答(あまりそう思わない、そう思わない)が多い項目  
1 学力 2 思いやり・いじめ

## 設問1 児童の様子（児童、保護者、教職員の比較）

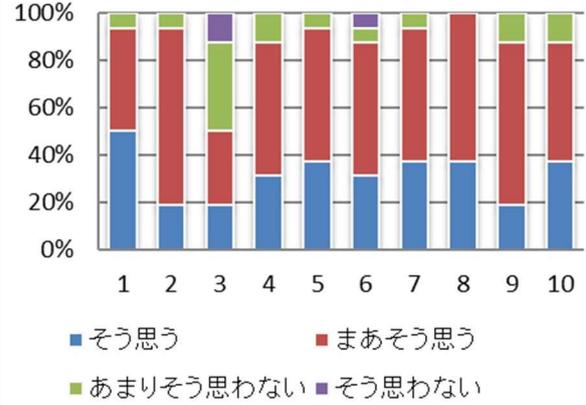
No.	質 問		R 2	R 3	R 4
1	自分の思い・考えを発表している。	児童	79	△88	84
		保護者	79	△84	84
		教職員	82	83	87
2	毎日、家庭学習に取り組んでいる。	児童	91	93	▼86
		保護者	79	82	▼77
		教職員	82	83	▼75
3	よく本を読んでいる。	児童	67	△75	▼69
		保護者	59	63	▼51
		教職員	64	△83	▼67
4	気持ちのよい挨拶や返事をしている。	児童	82	80	84
		保護者	79	82	▼77
		教職員	79	△88	▼67
5	時と場に合った正しい言葉遣いをしている。	児童	83	△93	▼84
		保護者	76	79	81
		教職員	78	▼67	67
6	進んで運動に取り組み、体力が向上している。	児童	82	80	△88
		保護者	79	79	75
		教職員	79	△92	▼86
7	健康や安全に気を付けて生活している。	児童	89	▼84	△95
		保護者	84	89	▼81
		教職員	82	83	83
8	仲よく思いやりをもって生活している。	児童	91	89	92
		保護者	89	91	▼84
		教職員	86	88	▼75
9	基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。	児童	86	89	▼83
		保護者	84	82	▼73
		教職員	79	79	75
10	自分らしさ(自分のよさ)を発揮し、楽しく学校に通っている。	児童	84	88	89
		保護者	88	89	▼78
		教職員	89	92	▼86

R3 → R4

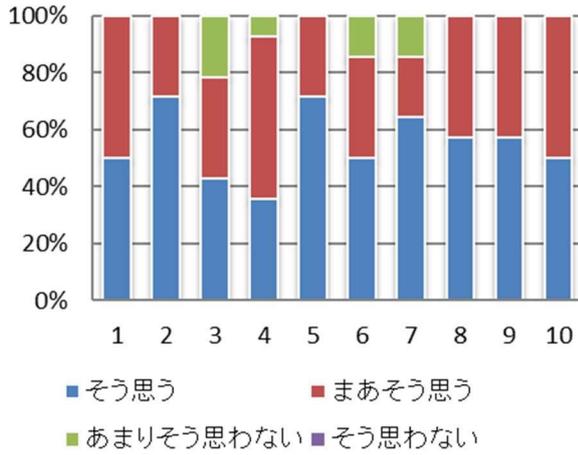
R3 保護者から見た  
児童の姿



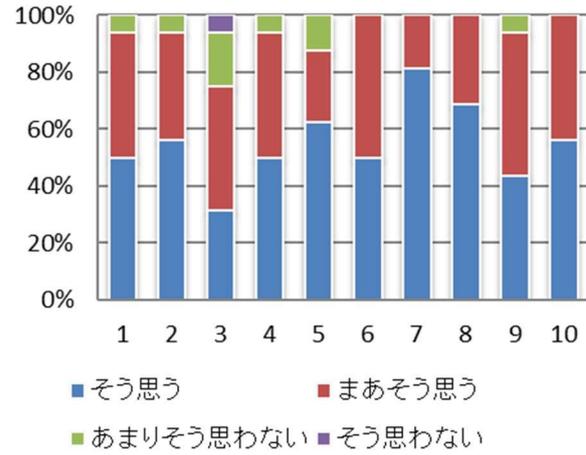
R4 保護者から見た  
児童の姿



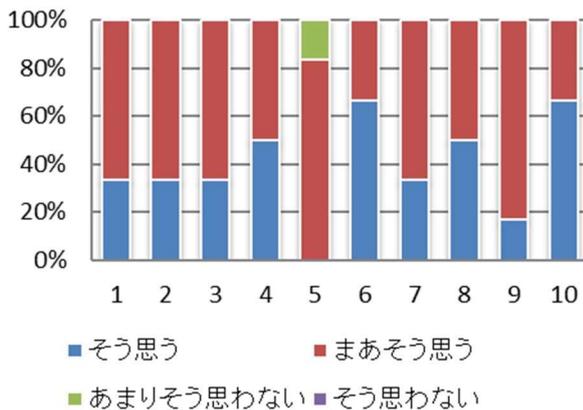
R3 児童自身の姿



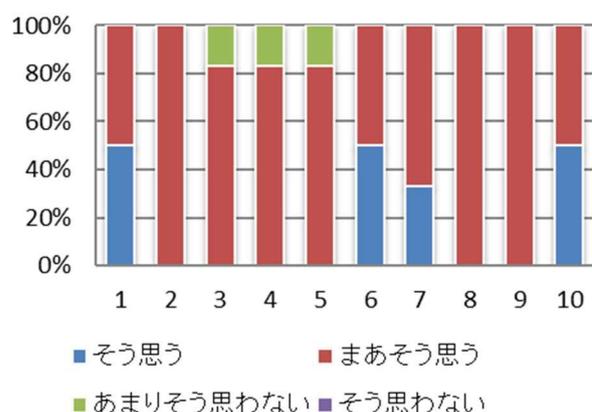
R4 児童自身の姿



R3 教職員から見た  
児童の姿



R4 教職員から見た  
児童の姿



## 設問2 がんばっていたこと、よりよくなったこと（自由記述）

- ・ 他の人を助けたりするところ、思いやりの気持ち、少しずつなかよく、周りのことを考えて生活 4
- ・ 自分の目標に向かって取り組んでいる
- ・ スリッパを揃えられていること
- ・ 言葉遣い、大きな声での挨拶 2
- ・ 陸上大会などの大会、学習発表会、歌舞伎などの部活、よりよい運動会になるためにがんばった 4
- ・ 体育をがんばっていた
- ・ 健康に学校に来ている。
- ・ みんなと沢山話し合う事ができた所が、よりよくなったと思います。
- ・ みんなで遊びを決断できていい。

## 設問3 もっとこうなったらいいな（自由記述）

- ・ 周りの人の気持ちを考えた発言、相手の気持ちを考えてもっと仲の良い浦川小に、今よりもさらに相手のことを思って行動、みんながもっと仲良くなる 5
- ・ 団結力
- ・ 言葉遣いが良くなるような取り組みなどをする 3
- ・ ともだちがふえたらいいな
- ・ みんなが楽しく遊んだり勉強できて明るい学校
- ・ 喧嘩がないように、仲間外れのないよう、陰口をなくしてほしい 2

- ・ 全般的に昨年よりは、数値は下がっている
- ・ いろいろな立場から見て、数値が下がった項目  
2家庭学習 3読書 4挨拶・返事 8思いやり 9基礎基本  
10自分らしさ
- ・ マイナスよりの回答（あまりそう思わない、そう思わない）が多めの項目  
3読書 4挨拶・返事 5言葉遣い 9基礎基本

## 設問① 浦川の子供について感じること

(『自分らしさを輝かせる子』の育成)の取り組み、自分らしさや自分のよさに気付くことができる感性、自己肯定感という視点から)

- 子供たちとふだんは会えないけど、折にふれ、町外かいものなどに出会うと声をかけてくれる。
- 運動会など学校行事に伺うと元気いっぱいの子供に会える。
- 学習発表会では、小規模学校ならではの、と言うか特徴と言うか、3～4人で20分間も話すこと、動き伝えることに感動しております。
- 人数が少ないことで指導が行き届くこともあるかも知れませんが、教育目標に沿った各取り組みが間違っていない証でもあると感じます。
- 先生方もかなりお手伝いしてくれていると感謝しています。
- 思いつくままに文字を並べます。昨年、町区内で浦小児童数人(男子)が自転車にて彼方此方で見かけました。最近その様な風景は見かけなかったので印象に残っています。校内でも同様の様子がみられるのでしょうか。この子供同士の中から自然と自分らしさ等々が生まれ、それに加え浦川の自然環境と、地区住民が学校行事へ地域参加する様子が確実にこの課題にプラスになっていると思います。
- 地域にある自然を活用して遊び、楽しく生活していると感じています。
- 少人数での活動だが、子供たちが計画を立て活動を実地する、そして自分の考えがしっかりと話せる子供に成長していると思いました。
- 自分のやりたいことや得意なことに取り組める環境があり、それぞれが思いきり楽しんでいる。
- 得意や好きなことを発表する場があり、自分のやってきたことを褒めていただけたり、認められたりして、自己肯定感につながっているのではないかと感じる。
- あまり接点はないが、元気良く挨拶もしっかりと行えているように感じる。
  - ・ 学校で育てられた「よさ」を学校外での生活で生かせるようになれば素晴らしいと思います。
  - ・ この子供たちが大勢の社会に出ても頑張れる子供となる様、ご指導願いたい。
  - ・ いつもですが、「物おじしない」子供が多いと感じます。
- ▲ 少ない子供達が集団の中で自分らしさをだしていけるのかは少し疑問あり。

## 設問② 学校が果たす役割として期待すること

(「市民協働による人づくり、地域で子供を育てるという視点から)

- ・ 高齢者でも、開かれた学校に伺えるよう工夫をし、行事やら、野菜作りの手助けができる。
- ・ 佐久間町在住の教員でなくても、地域を歩き、地元の人と触れ合ってください。
- ・ ブログを発信してくださるので、とても親しみが感じられる、子供の姿よくわかります。
- ・ 少人数の子供たちですので、個々が自己主張できていると感じていますが、これが逆効果とならないよう、大人数の中で、社会に出て、周りとの共同・協同・協働ができる子供たちになるよう、ご指導願いたい。
- ・ 家庭では、同年代による協働(共同・協同)と言う取り組みができません。地域、運

営委員も含め市民協働による人づくりを検討できないでしょうか。

- ・ 実施しているのですが、地域の良きところを学ぶこと。
- ・ 浜松市では、教育理念の1つとして・・・と掲げているようですが、残念ながら地元市民にはその声が届いていません。校長先生、コーディネーターがその任に当たっている様でしたら別です。
- ・ 地域で出来る情報を吸収出来る仕組みを学校でできないか。
- ・ 子供たちと地区住人が一緒に聴講参加できる様な講座開設は出来ないでしょうか。  
例 佐久間地区(特に浦川)で行われ、或は企画されている大きな事業の分かり易い話  
三猿南信の民族伝承(川合花の舞)話、山の話、川の話、ダムの話
- ・ 地域で子供を育てるために、学校はハブ機能をもっていると思います。授業で地域の歴史を調べる等の活動は継続して頂けると有難いです。
- ・ 地域の連携は子供たちの自己肯定感を高めていくと思う
- ・ 地域との信頼関係を構築しアプローチしていく事が大事と考える
- ・ 何をするかは子供たちでそれに関わる協力者になりたいと思います
- ・ 学校でボランティアが必要な時や行事がある時に今取り組んでいただいているように回覧やブログで発信すること。
- ・ 年に一回くらいざっくばらんに交流が深められる会などがあつたら、地域の人と家庭・学校の信頼関係が深まり、よりいいかもしれない。
- ・ 自主・自律の精神、道徳心の醸成。言われたことをただやるのではなく、自分で考え率先して行動していく精神や、善悪の判断ができる道徳心を育て、いじめをしない、止められる精神を育んでもらいたい。
- ・ 地域の中の学校としての役割を地域と連携することで一層進めてほしい

### 設問③ 学校に対する御意見・御要望

- ・ 学習発表会の子供たちのコーラス、感動しました。明るい未来が見えました。地元にいる65~75才くらいの方はすごく元気。どしどしお仕事(草取り etc.)ください。
- ・ 市内の良きところ(ものづくりの町)を見せてやってほしい。
- ・ 過日、中日新聞に学校統廃合について大学の先生がへき地教育環境について書かれていました。1月3日「規模重視でなく少人数でもニーズがあるなら学校を残す事に地元住民も含め知恵を絞るべきである。」同感でした。
- ・ 可能な範囲の中で、学校施設、職員の協力をいただけたらと思います。

- 行事や活動に取り組む態度や意欲など、子供たちの表れに対して高く評価してくださっている。また、少人数ならではの取り組みの効果に期待している方も多い。自己肯定感という観点からみると、こういった地域からの高い評価を、もっと積極的に児童に伝えていくことで、「〇〇もがんばろう」と、前向きにいろいろなことに取り組もうとする意欲につなげていきたい。
- 一方で、少人数ゆえの弊害について、例年同様に課題としてとらえている方もいた。学校だよりやCS通信、ブログなど、情報発信を続けるとともに、地域の方といっしょに活動できる場、地域の方から学ぶ場などをさらに設定できるか検討していく必要があると感じる。